



令和8年4月19日(日)に十和田市で稲生川ウォークが開催されました。当イベントは、十和田市の発展の礎である「稲生川」の歴史を後世に伝えるため、平成13年から開催されているウォーキングイベントです。今年は123名が参加し稲生川水系の歴史を巡り歩きました。



【準備体操（法量親水公園にて）】



【スタート地点】

稲生川は、新渡戸稲造の祖父、新渡戸傳(つとむ)が当時不毛の原野だった三本木原台地(現在の十和田市周辺)に農業用水を引くため、1855年に着工し現在まで改修を重ね利用されている農業水路です。

参加者は頭首工付近の法量親水公園で準備体操を行い、5km、14km、20kmの3つのコースに分かれて、稲生川を上流から様々な施設を巡り、稲生川の歴史を学びながらゴール地点の桜の広場を目指しました。

イベント当日は、桜は満開で市街地に近付くにつれ桜が舞い散っていました。桜の景色を楽しみにしていた参加者は時折写真を撮影するなど、稲生川ウォークを楽しんでいました。



【稲生川沿いの桜】



【稲生川の様子】

関連事業：中山間地域ふるさと活性化事業（通称：ふる水基金、棚田基金）  
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/hurumizutanada.html>